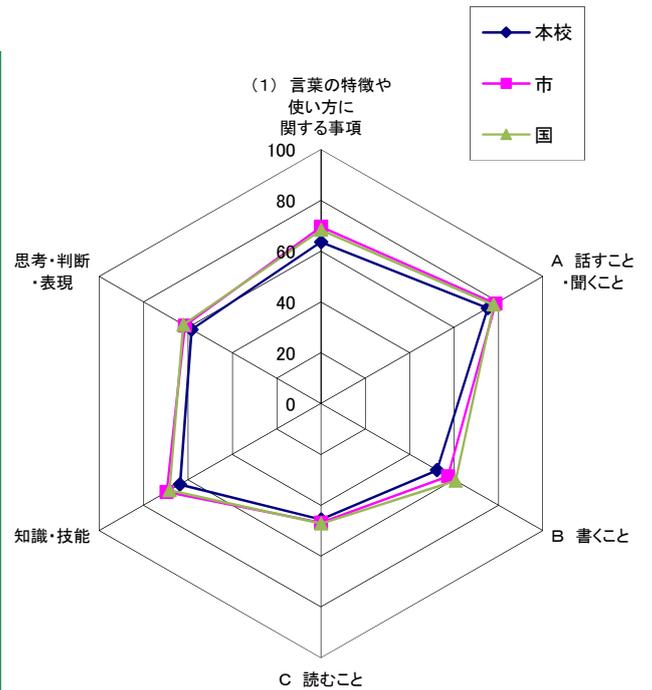


# 宇都宮市立宝木小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

## ★本年度の国、市と本校の状況

### 【国語】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	(1) 言葉の特徴や使い方にに関する事項	63.6	69.6	68.3
	(2) 情報の扱い方にに関する事項			
	(3) 我が国の言語文化に関する事項			
	A 話すこと・聞くこと	75.2	78.7	77.8
	B 書くこと	52.3	57.3	60.7
	C 読むこと	45.6	46.9	47.2
観点	知識・技能	63.6	69.6	68.3
	思考・判断・表現	58.4	61.4	62.1
	主体的に学習に取り組む態度			



## ★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
(1) 言語の特徴や使い方にに関する事項	<p>○思考に関わる語句の使い方を理解し、話や文章の中で使う問題は、全国平均より4ポイント低かったものの、正答率は83.5%と高かった。</p> <p>●学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う問題では、3問とも全国平均より下回った。また、文中における修飾と被修飾との関係を捉える問題の正答率は39.4%で、全国平均より4.2ポイント下回った。</p>	<p>○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの</p> <p>・漢字練習に力を入れ、文章を読む上での基礎的・基本的な知識の習熟を目指す。作文、意見文を書く活動や他教科で習った漢字を積極的に使って書いていくよう支援する。</p> <p>・主語、述語、修飾語に関する知識を再度指導していく。また、タブレット学習やプリントを使って、多くの問題に取り組むことで定着を図る。</p>
A 話すこと・聞くこと	<p>○スピーチの練習で、複数の資料を使った理由の説明として、適切なものを選択する問題では、正答率が77.1%で全国平均より2.2ポイント高かった。</p> <p>●目的に応じ、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える問題では、正答率が70.6%で全国平均より6.9ポイント低かった。</p>	<p>・調べたことや、自分の考えをまとめて発表する活動時には、聞く相手に、より伝わりやすいスピーチになるよう、原稿の書き方をその都度指導していく。また、有効な資料の選び方、情報と自分の考えを分けること、伝えたい内容が明確になる文章構成について、意識して書けるように指導する。</p> <p>・声の大きさや相手の反応をみながら、余裕をもってスピーチに臨むことができるよう、十分な練習時間を確保し、有意義な発表を目指す。</p>
B 書くこと	<p>●自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考える問題は、正答率が53.2%で全国平均より11.6ポイント下回った。</p>	<p>・意見や主張を書くときの表現や定型文を紹介し、書く活動の際に実践していく。</p> <p>・作文帳を活用し、宿題で作文を書く機会を増やす。</p> <p>・行事や学習活動の「ふりかえり」を書く時間を意識的に設けていく。また、学んだこと、考えたことを文で書くことに対する抵抗心を少なくしていけるよう、書く活動を増やしていく。</p>
C 読むこと	<p>○文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握する問題の正答率は78.9%で、全国平均より1.3ポイント上回った。</p> <p>●記述式の問題は、無回答が目立った。目的に応じ、文章と図表とを結び付けて必要な情報を見付ける問題では、正答率が28.4%と低く、全国より6ポイント下回った。</p>	<p>・図表や資料から文章の内容を読み取る練習をする。数字や変化の様子など、資料の読み取りの際に注目すべきところを指導する。</p> <p>・余裕をもって記述問題に取り組めるように、問題を解く際の時間配分について指導する。また、読み取ったことを言葉や文章で表すことができるように、練習問題などに取り組ませる。</p>